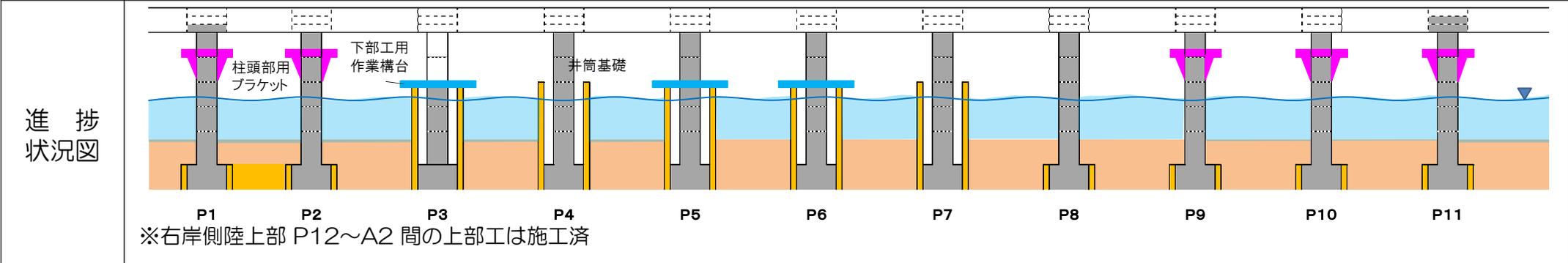
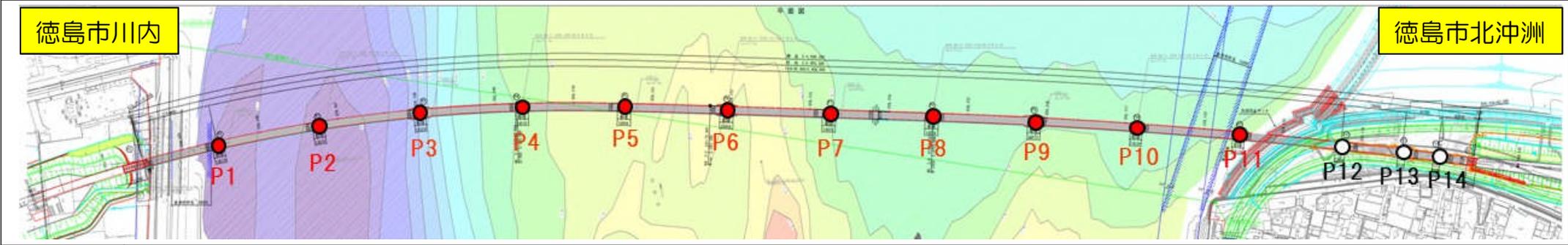

2. 工事の実施状況 (平成30年11月～現在)

2-1 工事の実施状況①



平成28年11月より開始した工事の実施状況を以下に示す。 ※全ての橋脚に着手済。



項目	平成27年度	平成28年度				平成29年度				平成30年度				平成31年度/令和元年度				令和2年度				令和3年度			
		1/四	2/四	3/四	4/四	1/四	2/四	3/四	4/四	1/四	2/四	3/四	4/四	1/四	2/四	3/四	4/四	1/四	2/四	3/四	4/四	1/四	2/四	3/四	4/四
下部工		■				■				■				■											
セグメント製作						■				■				■				■							
上部工																		■				■			

現在



■ 2-2 工事の実施状況②



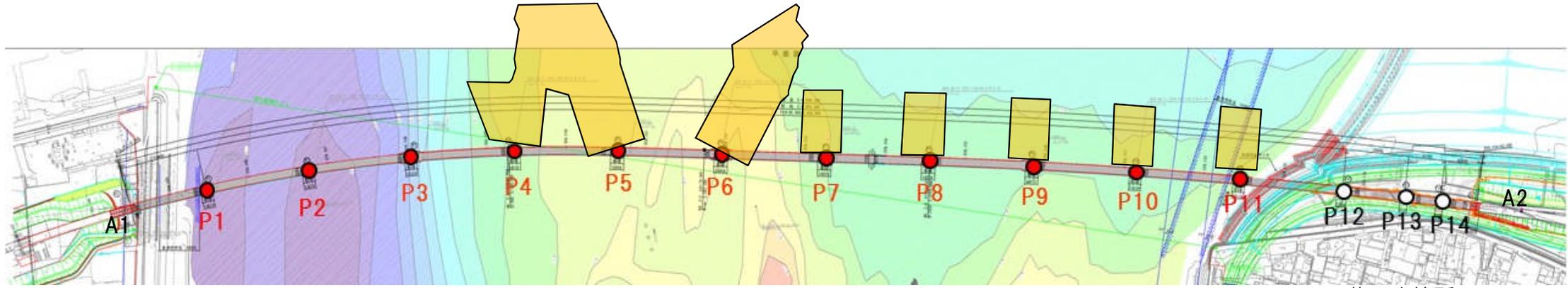
平成30年11月より開始した第4期工事の実施状況を以下に示す。

- ①工事は予定通り河川内全ての基礎工に着手し、出水期である現在も工事を進めている。
- ②P12～A2間の上部工は施工が完了。河川内橋脚P1～P2及びP9～P11については柱頭部の施工に着手。

河川内施工状況



右岸陸上部状況



※黄色のハッチングは、H30.11～R元.5：第4期工事の浚渫範囲を示す。

- ：施工中箇所
- ：施工完了箇所



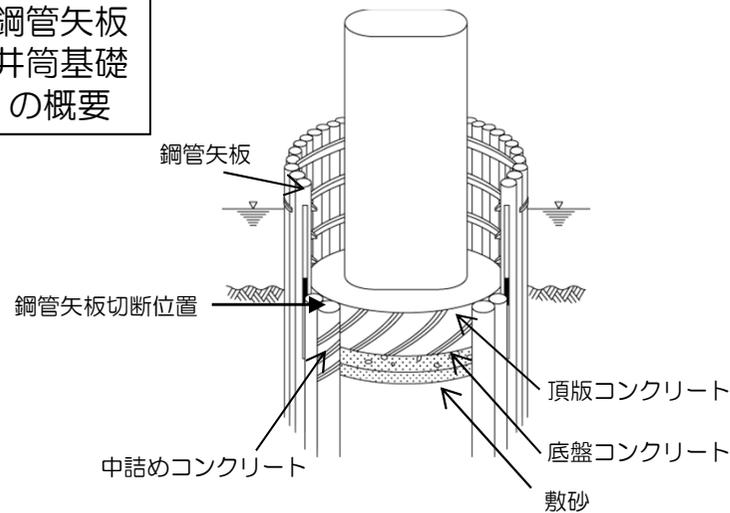
■ 2-3 工事の実施状況③

第4期工事の実施状況を示す。

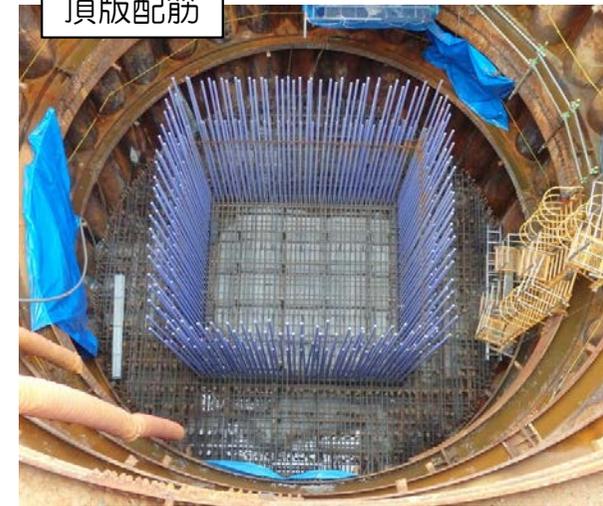
浚渫（P5周辺）



鋼管矢板
井筒基礎
の概要



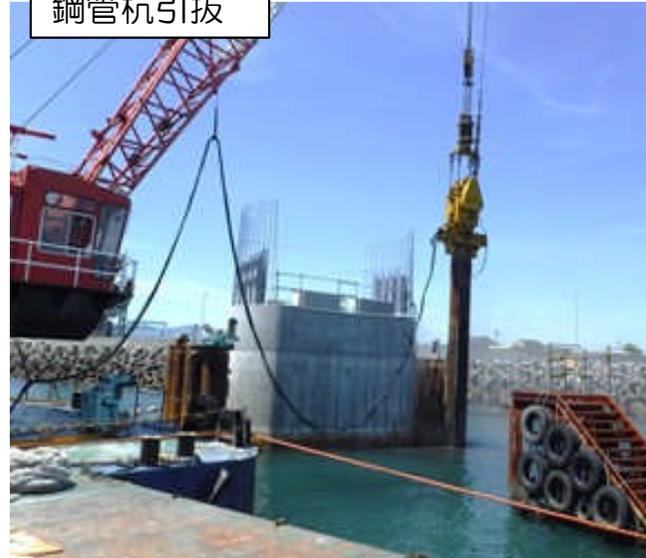
頂版配筋



橋脚配筋



鋼管杭引抜



上部工施工用
ブラケット作業構台



■ 2-4 工事の実施状況④

第一製作ヤード状況（沖洲）



第一製作ヤード
Pcaセグメント桁製作進捗率 40%
（10/7時点）

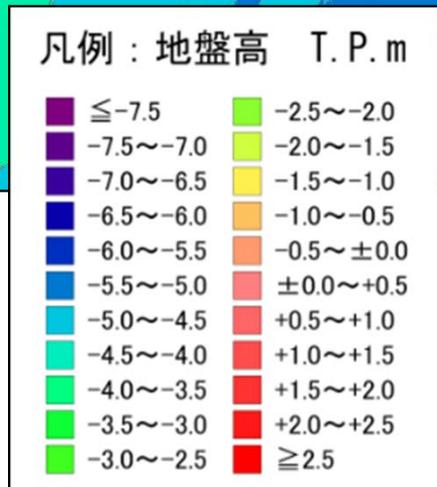
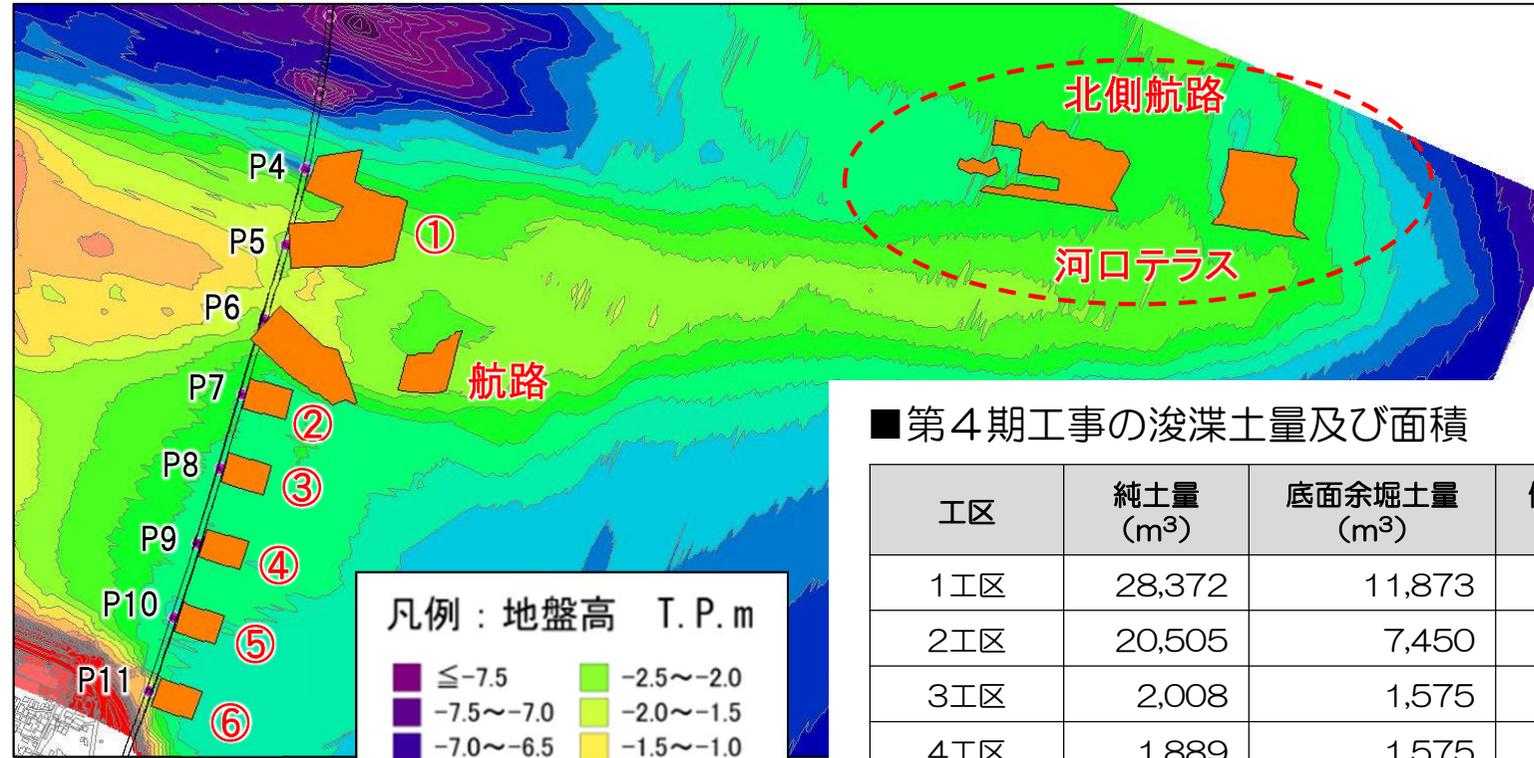
第二製作ヤード状況（津田）



第二製作ヤード
Pcaセグメント桁製作進捗率 56%
（10/7時点）

■2-5 第4期工事の渇水期に実施した浚渫

第4期工事（平成30年度渇水期）に実施した浚渫の土量及び面積を示す。第3期工事（平成29年度渇水期）の浚渫後から、平成30年度は大きな出水が繰り返されることで**浚渫箇所の埋め戻し**が生じた。そのため、第3期工事よりも**浚渫土量及び面積が大きく増加**した。さらに、出水に伴って河口テラスに土砂が堆積したため、**北側航路の浚渫**も生じた。



■第2期工事	
・浚渫土量	109,868m ³
・浚渫面積	70,218m ²
■第3期工事	
・浚渫土量	63,632m ³
・浚渫面積	37,933m ²

※第3期工事は埋め戻しあまり生じておらず、第2期工事で浚渫した状況が継続されていた。また、P10とP11の浚渫も不要であった。

■第4期工事の浚渫土量及び面積

工区	純土量 (m ³)	底面余堀土量 (m ³)	側面余堀土量 (m ³)	合計土量 (m ³)	面積 (m ²)
1工区	28,372	11,873	4,246	44,491	23,746
2工区	20,505	7,450	3,774	31,729	14,899
3工区	2,008	1,575	723	4,306	3,150
4工区	1,889	1,575	539	4,003	3,150
5工区	936	1,575	282	2,792	3,150
6工区	1,026	1,575	388	2,990	3,150
航路	1,572	3,139	191	4,902	6,277
合計	56,307	28,761	10,144	95,121	57,522
北側航路	9,185	18,978	737	28,900	18,978
合計	65,492	47,739	10,881	124,021	76,500

2-6 北側航路浚渫の必要性について



北側航路は工事区域への作業船の進入路であるが、平成30年度の大きな出水の影響より河口テラスへの土砂堆積が増加したことから、**作業船進入路の喫水深確保のために北側航路浚渫の必要性が生じたもの。**

